

特定非営利活動法人

輝く猪苗代湖をつくる県民会議

令和元年度 通常総会

次 第

日時 : 令和元年6月1日(土) 13:30~

場所 : 猪苗代町地域福祉交流センター 大会議室(2階)

1 開 会

2 理事長あいさつ

3 定足数確認

4 議長選出

5 議事録署名人選出

6 議 題

第1号議案 平成30年度活動報告について

第2号議案 平成30年度活動決算報告について

第3号議案 役員選出について

第4号議案 令和元年度活動計画(案)について

第5号議案 令和元年度活動予算(案)について

7 その他

8 閉 会

第1号議案

平成30年度活動報告について

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

平成30年度活動の主な執行状況は、次のとおりである。

I 会議等の開催

1 平成30年度 通常総会

平成30年5月20日（日）16:00～ 於：郡山市市民交流プラザ 第3会議室（郡山市）

《 議題 》

- ・平成29年度事業報告・同活動決算報告
- ・平成30年度事業計画(案)・同活動予算(案)

2 理事会

(1) 第1回理事会

平成30年5月1日（火）17:00～18:30 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・平成29年度事業報告・活動計算書の案について確認 等
- ・平成30年度事業計画 予算書案について検討 等

(2) 第2回理事会

平成30年7月31日（火） 14:00～17:00 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・県内大学水泳大会の実施予定日を9月1日として実施内容を確認
- ・漂着水草回収事業の実施開始日9月29日とし、実施に向けて詳細部分の協議
- ・ヒシの実回収作業の実施状況の報告と今後の対応
- ・ヨシ刈り取りと有効利用のテスト（紙の原料）の方向性の説明・検討
- ・大腸菌群対策を含む生活排水対策、COD低減についての意見交換
- ・北部水域の水生植物繁茂実態の空撮の実施状況報告 他

(3) 第3回理事会

平成30年11月30日（土） 16:00～18:00 於：ホテルみなとや

《 議題 》

- ・漂着水草回収活動の実施状況報告・反省点等の検討
- ・繁茂ヒシの回収手法の検討、猪苗代RCの回収活動の報告
- ・繁茂ヨシの回収・有効利用の試行的実施状況の報告、回収作業実現の検討
- ・NPO活動の5つの柱について検討
- ・福島県議会に対する請願「猪苗代湖の水質保全を求める請願について」を行い、12月議会で採択され、衆議院議長、環境大臣等宛に意見書が提出された。 他

II 特定非営利活動

1 水質改善県民活動

(1) 漂着水草回収活動

- ・ 国際ロータリー第 2530 地区と猪苗代ロータリークラブの全面的協力を得ながら計画に基づき実施した。

実施期間：平成 30 年 9 月 29 日～11 月 4 日の毎週土・日曜日+α 延べ 13 回

参加人数：1,811 名 水草回収量：173.3 m³ (コンテナ数：4,610 箱)

(2) ヒシの実(殻)除去作業の試行実施

猪苗代ロータリークラブと連携し、リコージャパン(株)郡山営業所の協力を得て松橋浜に大量漂着しているヒシの実について、選別回収方法を検討しながら回収した。

日 時：平成 30 年 6 月 30 日 (土) 9:30～12:00

場 所：猪苗代湖松橋浜北側エリア

出 席：猪苗代 RC、リコージャパン(株)、当 NPO の計 17 名

(3) 北部水域のヨシに関する意見交換会

毎年 5 月頃から 10 月にかけて、猪苗代湖北岸域に繁茂面積を増やしているヨシについて、今後どのようにしていったらよいかの意見交換を行った。

日時：平成 31 年 3 月 16 日 (土) 14:30～16:00 場所：学びいな 研修室 D

参加者：反響保全団体関係者、行政担当者、大学教員、事業者当 NPO 会員など 11 名

(4) 他団体との協力による清掃活動・交流活動等

- ・ 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催（福島県産業廃棄物協会、猪苗代町等の共催）の「猪苗代湖クリーンアクション 2018」に参加した。

平成 29 年 4 月 14 日 (土) 天神浜、小黒川河口 他

6 月 23 日 (土) 舟津浜、

- ・ アサザ保護のためのヒシ刈り取り作業（猪苗代湖の自然を守る会主催）に参加した。

平成 30 年 7 月 日～9 月 日 毎週金曜日に開催 三城潟～高梁川河口の湖岸

- ・ 紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト会議（県庁主催）に参加し活動状況を発表した。

平成 30 年 6 月 19 日 (土) 猪苗代町役場 正庁

・

2 水質研究活動

(1) 湖岸主要地点の水質調査・現地状況の記録

志田浜、白鳥浜西、天神浜、松橋浜、浜路浜、舟津浜、鬼沼東など 11 地点で、平成 30 年 5 月から 31 年 3 月まで原則月 2 回の定期調査と臨時調査の計 26 回、pH、COD、T-N、T-P の水質調査を実施した。（中村理事長・藤田理事）

青松浜から志田浜にかけての湖岸は比較的清澄であるが、天神浜から白鳥浜西の浅い北部水域の湖岸は、ことに秋季から冬季にかけて汚濁と植物質に由来すると考えられる堆積

物、沈積物大量に見られた。また、ヨシやヒシの放置に伴う腐食等により、場所によって湖岸の湖水はCOD 100 mg/L程度の状況が確認された。なお、猪苗代湖のCOD 0.1 mg/Lを低減するためには、約400トンのCOD削減が必要である。

(2) ドローン空撮による湖面の水生植物調査

千葉県在住の中井博久氏（当NPO活動の理解者）の協力で、ヒシ等の浮葉植物等の繁茂状況の経月変化を把握するため、平成30年4月30日、5月29日、6月29日、8月4日、9月1日、10月7日、11月3日の軽7回にドローンを用いて北部水域の空撮を行った。

(3) 日本水環境学会第53回年会（H31.3.7～9 於：山梨大学甲府キャンパス）にて、中村理事長と藤田理事が研究成果を発表した。

3 子ども及び青少年の環境保全支援活動

(1) 郡山市立湖南小学校の環境教育支援活動

鬼沼での水質調査と生物調査等を行うとともに、他校の生徒との環境活動報告会に参加した。

実施日：平成30年9月11日（火）、等

参加者：湖南小学校4年生22名、引率教員、保護者、湖南行政区役員、郡山市生活環境課、郡山市湖南行政センター、猪苗代漁業協同組合、当NPO他 計37名

(2) 県内大学水泳部による猪苗代湖体感水泳大会

次世代を担う大学生に猪苗代湖と水環境保全の重要性を体感してもらい、水環境保全を県民に語りかける存在として社会に羽ばたいてもらうことを目的として、次のとおり実施した。

実施日：平成30年9月1日（土）

参加大学：会津大学、日本大学工学部、福島県立医科大学、福島大学の水泳部員29名

実施内容：清澄な水質を体感するための長浜沖から長浜までの遠泳

ドローンによる動画空撮はユーチューブで発信中

<https://youtu.be/jRzcVN0ffyo>

4 その他の活動

次の活動に積極的に取り組む必要がある。

- ・ホームページの活用
- ・活動報告書（印刷物）の発行
- ・活動資金の安定的確保
- ・猪苗代湖の水質改善についての具体的取組の強化

第2号議案

平成30年度活動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I. 事業活動収入の部	2,910,000	2,988,627	78,627	
1. 会費収入	95,000	60,000	-35,000	
正会員受取会費	90,000	60,000	-30,000	26人×@3,000、1人30年度分
賛助会員受取会費	5,000	0	-5,000	
2. 補助金等収入	1,400,000	1,400,000	0	
補助金・助成金	1,400,000	1,400,000	0	河川財団、イオン財団、湖美来クラブ、下水道公社
3. 寄付金等	200,000	310,000	110,000	
寄付金	200,000	310,000	110,000	産廃協会、猪苗代湖の自然を守る会
4. 事業収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
5. 雑入	21,882	25,509	3,627	
雑入	21,882	25,509	3,627	水泳大会参加者負担金 他
6. 前期繰越金	1,193,118	1,193,118	0	固定資産(軽自動車簿価)を含む。
II. 事業活動支出の部	1,579,855	1,299,207	-280,648	
1. 事業費支出	1,559,855	1,299,207	-260,648	
旅費交通費	10,000	0	-10,000	交通機関利用の実費負担 他
通信運搬費	100,000	78,223	-21,777	電話代、切手代
消耗品費	350,000	219,061	-130,939	タオル、ヒシ回収用資材 他
印刷製本費	20,000	3,500	-16,500	活動報告書 他
賃貸料	180,000	173,228	-6,772	現地事務所賃借料 他
諸謝金	150,000	215,000	65,000	車両借り上げ 他
委託料	400,000	315,610	-84,390	事務補助委託、HP開設
イベント費	80,000	40,000	-40,000	水泳大会
会議費	10,000	12,700	2,700	総会会議会場使用料
保険料	110,000	97,930	-12,070	傷害保険、自動車保険
支払手数料	10,000	8,100	-1,900	公文書交付、銀行振込
減価償却費	124,855	124,855	0	軽自動車(定率法)
公租公課	5,000	5,000	0	
諸会費	10,000	6,000	-4,000	
2. 受託事業支出	0	0	0	
3. 予備費	20,000	0	-20,000	
次期繰越収支差額	1,330,145	1,689,420	359,275	

貸借対照表

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	1,564,565		
流動資産 合計		1,564,565	
2. 固定資産			
車両運搬具(軽ダンプ)	124,855		
固定資産 合計		124,855	
資産の部 合計			1,689,420
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債 合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債 合計		0	
負債の部 合計			0
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,193,118	
当期正味財産増減額		496,302	
正味財産の部 合計			1,689,420
負債及び正味財産合計			1,689,420

財務諸表の注記

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協会)によつていす。

(1) 固定資産の減価償却方法

固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によつていす。

2 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首 取得価額	取得	減少	期末 取得価額	減価償却 累計額	期末 帳簿価額
車両運搬具	1,198,611	0	0	1,198,611	1,073,756	124,855
合計	1,198,611	0	0	1,198,611	1,073,756	124,855

財産目録

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

平成31年3月31日現在

(単位:円)


科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	1,109	
普通預金 東邦銀行郡山営業部	1,563,456	
現金・預金 計	1,564,565	
流動資産 合計		1,564,565
2. 固定資産		
車両運搬具(軽ダンプ)	124,855	
固定資産 合計		124,855
資産の部 合計		1,689,420
II. 負債の部		
1. 流動負債	0	
流動負債 合計		0
2. 固定負債	0	
固定負債 合計		0
負債の部 合計		0
正味財産		1,689,420

監 査 報 告 書

定款第 15 条第 4 項の規定に基づき、平成 29 年度における業務及び会計執行状況について監査を実施しましたが、その結果を下記のとおり報告いたします。

平成 31 年 4 月 17 日

特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議

監 事 長尾トモ子  印

記

- 1 監査を実施した日時
平成 31 年 4 月 17 日（水） 17 時 00 分～17 時 40 分
- 2 監査を実施した場所
NOP 輝く猪苗代湖をつくる県民会議 猪苗代事務所
(猪苗代町大字磐里字六角 78-1)
- 3 監査の対象
平成 30 年度における財産の状況、業務執行の内容、収入支出等会計執行状況の適否
- 4 監査意見
業務執行と関係諸帳票、証拠書類について監査した結果、内容は適正と認める。

第3号議案

役員選出について

当法人の役員の任期は、定款第16条第1項の規定により2年とされており、現役員は平成29年5月20日に選任されましたので、令和元年5月20日まで（ただし、定款第16条第2項の規定により、任期の末日後最初の総会が終結するまで）となっています。

このため、定款第14条の規定により、新たに役員選出を行いたく、次のとおり提案します。

なお、新たな役員の任期は、令和元年6月1日から令和3年6月1日までとなります。

役員の名称	候補者氏名	摘要
理事	中村 玄正	再任
理事	長澤 金一	再任
理事	中村 岳嗣	再任
理事	渡部 英一	再任
理事	長谷川 潔	再任
理事	佐瀬 真	再任
理事	藤田 豊	再任
監事	長尾トモ子	再任

第4号議案

令和元年度活動計画について（案）

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

I 活動実施の方針

猪苗代湖の水質日本一復活を目指し、昨年度に引き続き、猪苗代湖の水質改善活動を広く県民に参加を呼び掛けて実施するとともに、猪苗代湖の地域資源としての価値を再確認する活動を広く展開する。

II 会議等の開催

1 通常総会

開催日時 : 令和元年6月1日（土）13:30～

開催場所 : 猪苗代町地域福祉交流センター 大会議室（2階）

2 役員会

事業の円滑な実施のために、第3回目以降は適宜開催する。

（1）第1回役員会 平成31年4月17日（水） 於：猪苗代事務所

（2）第2回役員会 令和元年6月1日（土） 於：猪苗代事務所（予定）

III 特定非営利活動

1 水質改善県民活動

（1）漂着水草回収活動

国際ロータリー第2530地区（福島県）と猪苗代ロータリークラブの協力を得ながら、県内の団体や個人等の参加を募り、次のとおり実施する。

時期：令和元年10月5日（土）～11月10日（日）の毎週土・日曜日 延べ12回

場所：天神浜、松橋浜（松橋青浜） 他

延べ参加人数（目標）：2,000人

（2）湖岸美化活動（漂着ヒシの実の回収等）

昨年、松橋浜から天神浜にかけて漂着ヒシの実の回収作業について、昨年度の試行的実施を踏まえ、本年度も回収手法を検討しながら実施する

時期 : 令和元年5月下旬～6月上旬

場所 : 猪苗代湖北岸

（3）北部湖岸ヨシの景観向上や一部繁茂抑制や回収・有効利用検討

水辺に繁茂するヨシの刈り取り・回収、ヨシ焼き、ヨシの有効利用の方向性について昨年度の意見交換を踏まえ、関係機関とさらに合意形成を進めて景観向上に資するとともに、総合計画を策定して具体的に着手を目指す。

（4）他団体との協力による清掃活動

他団体が主催する清掃活動等に積極的に参加するとともに、共催による参画も前向きに検討する。

2 水質研究活動

(1) 水質調査の実施

昨年度までの湖岸周辺の水質調査を総括するとともに、猪苗代湖に生じている諸現象の解明に資する研究を進め、その成果を学会等で発表する。

(2) 検討会の開催

大腸菌群数を環境基準値内へ抑制すること、CODを1.0mg/L未満に抑えることを目標にして、水質研究や実践活動の方向性を検討するための会合の開催（共催）を目指す。

(3) 関係行政機関や県民と連携した目に見える水質改善活動の具現化

猪苗代湖のCODを1mg/L未満に抑えることを目指すとともに、生活排水対策を向上させるため、広く関係行政機関や環境保全活動団体、県民等に呼び掛けて、水質改善活動をより具体的に進めるための方策を検討する。

3 子ども及び青少年の環境保全支援活動

昨年度に引き続き、以下を実施する。

(1) 湖南小学校をはじめとする小中高校等の環境教育学習への支援

(2) 県内大学水泳部による猪苗代湖水質体感水泳大会の開催

(3) 市民大学講座、大学や高校、各種団体等での環境学習講座へ講師派遣

4 地域資源活用活動

猪苗代湖岸のヨシを地域資源として活用できないかの検討を進める。

具体的には、年2回程度現地調査や検討会を開催するとともに、ヨシの有効活用等を目指す他団体（民間会社を含む）との連携を図る。

5 猪苗代湖学活動

(1) 「猪苗代湖学 県民講座」（仮称）の開催

日本大学工学部などと連携して、県民講座を開催する。具体的な開催形態、開催日時・場所等は早急に計画、検討・取りまとめを行い、本年度中にも開催を目指す。さらに、次年度にはより充実した「猪苗代湖学 県民講座」を展開する。

6 その他の活動

本会の目的を達成するため、本会の活動の趣旨に賛同する団体や企業、マスコミ、行政との連携を図りながら、会の活動の広報・周知のため、次の事業を実施する。

活動計画の周知や活動実績のPRをホームページの有効活用で行う。

① 活動報告書（印刷物）を発行する。（年1回以上）

第5号議案

令和元年度活動予算書(案)

平成31年4月1日～令和2年3月31日

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

(単位:円)

科 目	予算額	30年度決算額	増 減	備 考
I. 事業活動収入の部	2,826,302	2,988,627	-162,325	
1. 会費収入	65,000	60,000	5,000	
正会員受取会費	60,000	60,000	0	20人×@3,000
賛助会員受取会費	5,000	0	5,000	1人×5,000
2. 補助金等収入	950,000	1,400,000	-450,000	
補助金・助成金	950,000	1,400,000	-450,000	河川財団、湖美来クラブ、下水道公社
3. 寄付金等	100,000	310,000	-210,000	
寄付金等	100,000	310,000	-210,000	
4. 事業収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
5. 雑入	21,882	25,509	-3,627	
雑入	21,882	25,509	-3,627	
6. 前期繰越金	1,689,420	1,193,118	496,302	
II. 事業活動支出の部	1,359,854	1,299,207	60,647	
1. 事業費支出	1,339,854	1,299,207	40,647	
旅費交通費	50,000	0	50,000	交通機関利用の実費負担 他
通信運搬費	80,000	78,223	1,777	電話代、切手代
消耗品費	200,000	219,061	-19,061	タオル、ヒシ回収用資材 他
印刷製本費	50,000	3,500	46,500	活動報告書 他
賃貸料	180,000	173,228	6,772	現地事務所賃借料 他
諸謝金	120,000	215,000	-95,000	車両借り上げ 他
委託料	350,000	315,610	34,390	事務補助委託、水草運搬
イベント費	40,000	40,000	0	水泳大会 他
会議費	20,000	12,700	7,300	総会会議会場使用料
保険料	100,000	97,930	2,070	傷害保険、自動車保険
支払手数料	10,000	8,100	1,900	公文書交付、銀行振込
減価償却費	124,854	124,855	-1	定率法
公租公課	5,000	5,000	0	軽自動車税 他
諸会費	10,000	6,000	4,000	
2. 受託事業支出	0	0	0	
3. 予備費	20,000	0	20,000	
次期繰越正味財産額	1,466,448	1,689,420	-222,972	

7 その他

平成31年4月17日（水）に猪苗代事務所で開催した本年度の第1回理事会で協議・決定した事項のうち、令和元年度事業計画に反映されていない事項を次のとおり報告します。

- ① 当NPOの活動等に種々アドバイスをいただくため、須藤隆一博士を参与として迎える。（定款第6条の正会員、賛助会員には該当せず、サポーターに位置付けられる。）
- ② 当法人の主たる事務所の住所を郡山市静町5番地の2（中村理事長の自宅）に変更する。（定款第2条では「この法人は、主たる事務所を郡山市に置く。」とされており、定款変更を伴わないため、理事会の議事録を付して法務局や県のNPO法担当課に手続きを行います。）